2020年度（2021年3月期）
決算の概要

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て

福島銀行

目　次

福島銀行

1．2021年3月期決算トピックス	P．1
ふくぎんＶ字回復プランの概要　《　2020年8月11日公表　》	P．2
３期連続本業収益増加	P．3
有価証券運用の大幅な見直し	P．4
預　金（NCDを含む）・預かり資産	P．5
貸　出（私募債含む）	P．6
2．SBIグループとの連携	P．7
SBIグループとの主な業務提携一覧および具体的連携について	P．8
3．2021年3月期決算の概要	P．11
2021年3月期の実績	P．12
預　金（NCDを含む）・預かり資産	P．13
貸　出（私募債含む）	P．14
有価証券	P．15
健全性	P．16
2021年度（2022年3月期）の決算予想	P．17
4．中期経営計画について	P．18
5．2020年度の主な取組み	P．23
6．当行のプロフィール	P．27

1．2021年3月期決算トピックス

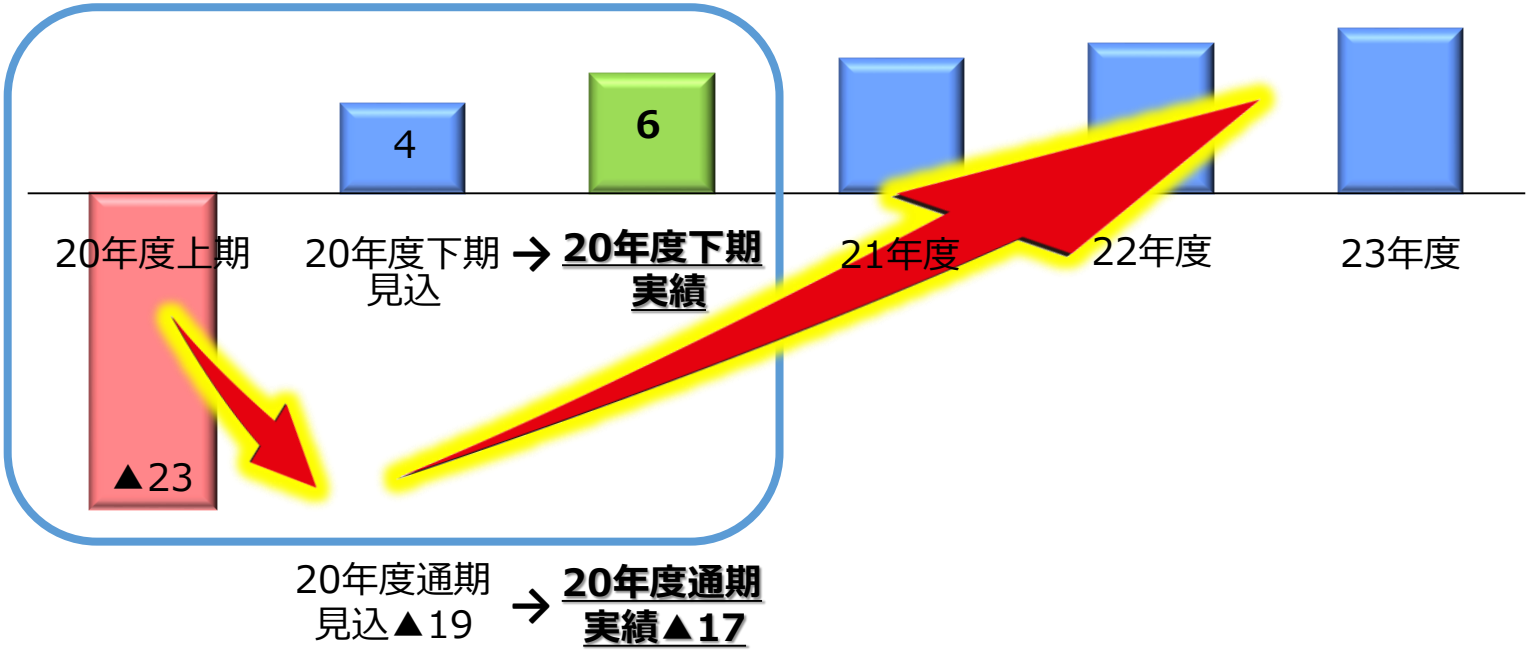
ふくぎんＶ字回復プランの概要 《 2020年8月11日公表 》

福島銀行

- 今後拡大する可能性のあるリスク要因について前倒しで処理し、前向きな損失を計上
- 2020年9月期 中間純利益▲23億円、2021年3月期 **当期純利益見込**▲19億円 → **実績▲17億円**
- 本業収益は、前年を上回る黒字を見込む（2020年3月期 **本業収益**7.2億円） → **実績 13.5億円**
- 有価証券含み損を一掃し、信用コストの備えも充実（2020年3月期 **その他有価証券評価損**▲40億円）
  → **実績+3.2億円の評価益**
- これにより将来に向けて安定的な収益を確保し、業績のV字回復と復配を目指す
- お客さまの支援に全力で取組み、地域経済の活性化・地域創生に貢献する

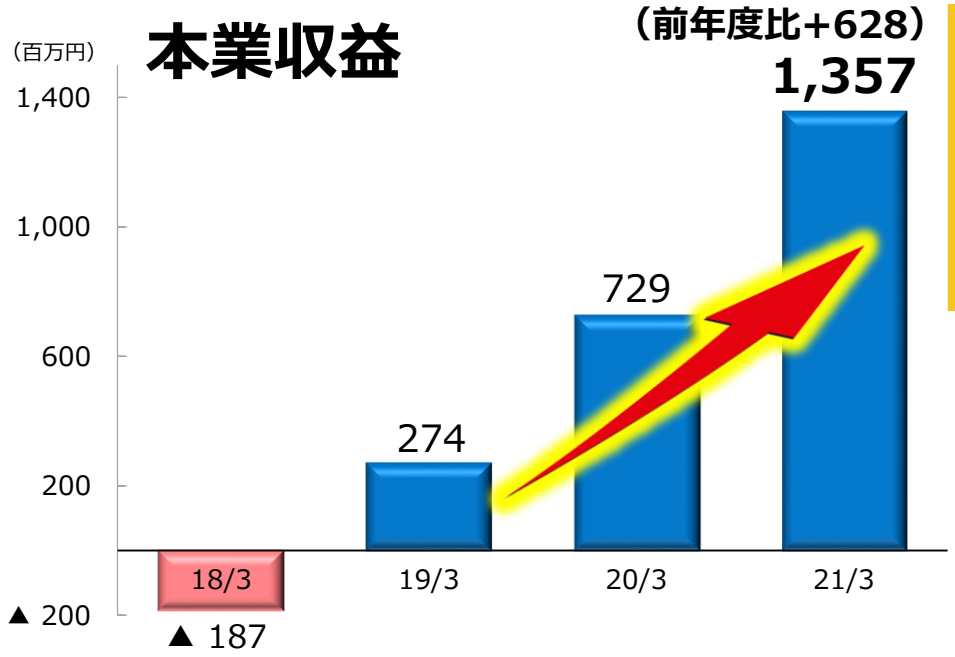
当期純利益の推移目標と達成状況

（億円）



３期連続本業収益増加

福島銀行



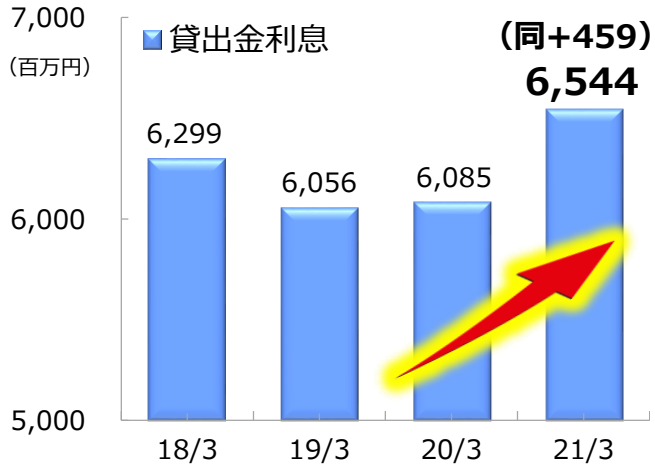
金融機関の本来の収益力をあらわす

本業収益(投信解約益を除くコア業務純益)は

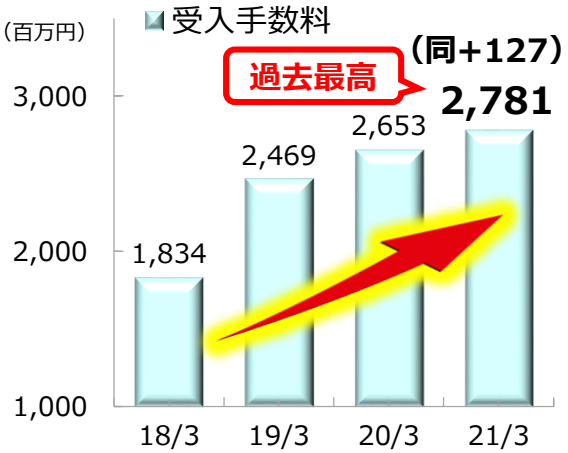
1,357百万円(前年度比**+628百万円**)と

３期連続で着実に増加

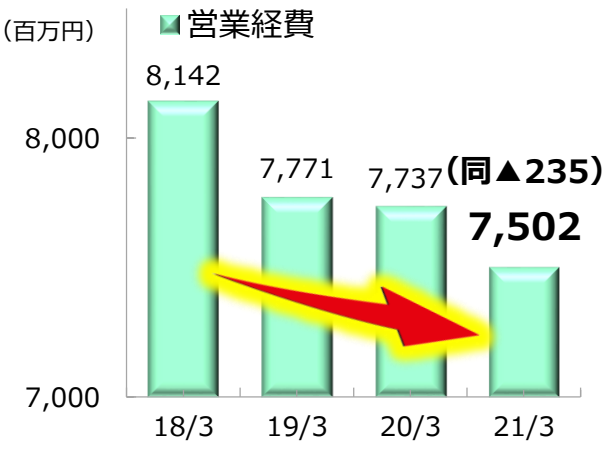
- **貸出金利息**は、営業店事業性融資の増加を中心に、同＋459百万円増加
- **受入手数料**は、同＋127百万円。**過去最高を更新**
- **営業経費**は、同▲235百万円削減（**物件費は5期連続で減少**）



- コロナ対応融資を中心に**地元中小企業へ積極的に対応し**貸出金利息が増加



- 法人においては**私募債発行手数料**、個人においては**金融商品仲介手数料**などが増加



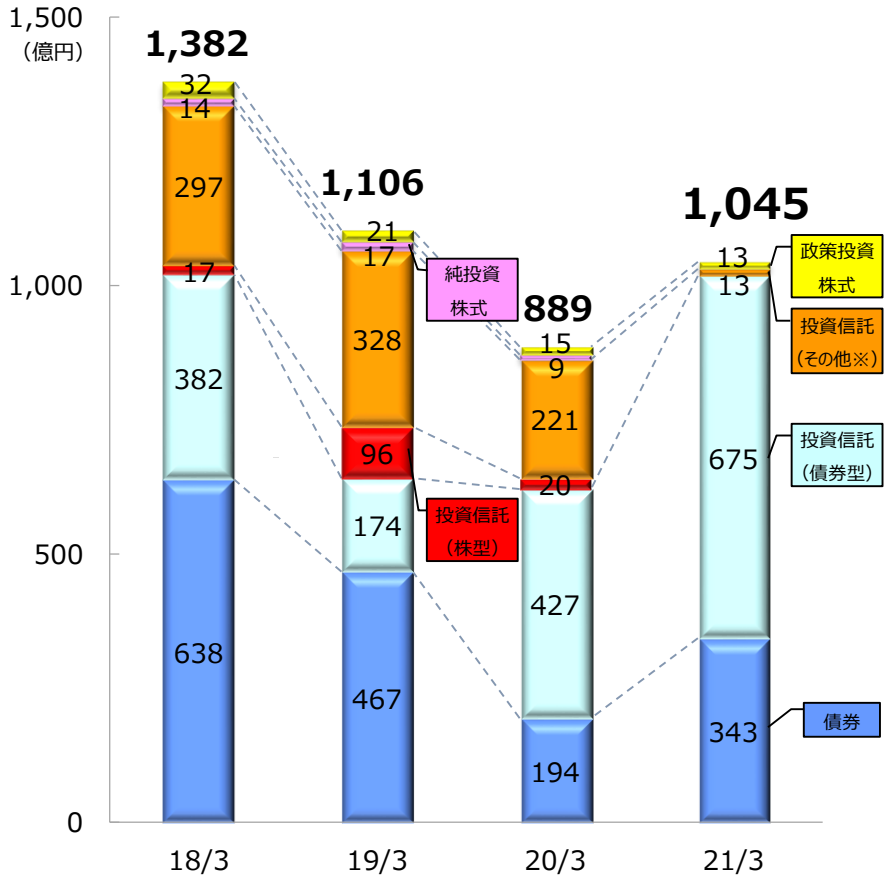
- 物件費を中心に、**営業経費全般**を削減

有価証券運用の大幅な見直し

有価証券のポートフォリオについて、SBIグループへの委託に切り替えたことにより、債券中心の運用に変更し低コストで安定した収益を目指す

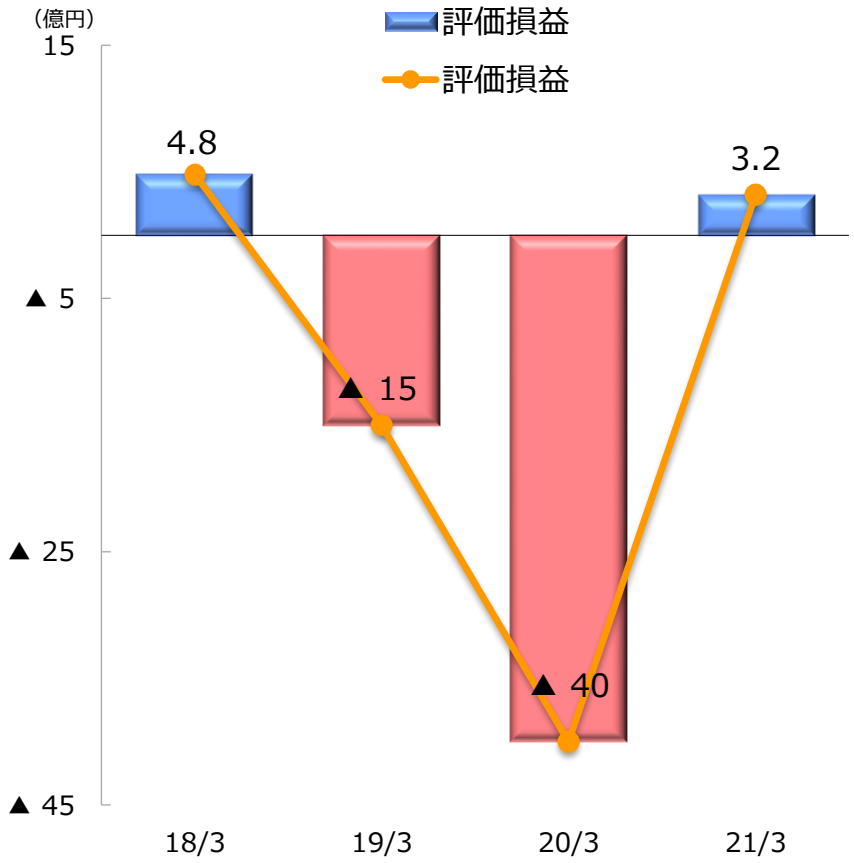
株式や投資信託等を売却し、20年3月期に▲40億円あった有価証券評価損を一掃し、21年3月期には＋3.2億円の評価益

その他有価証券残高の推移



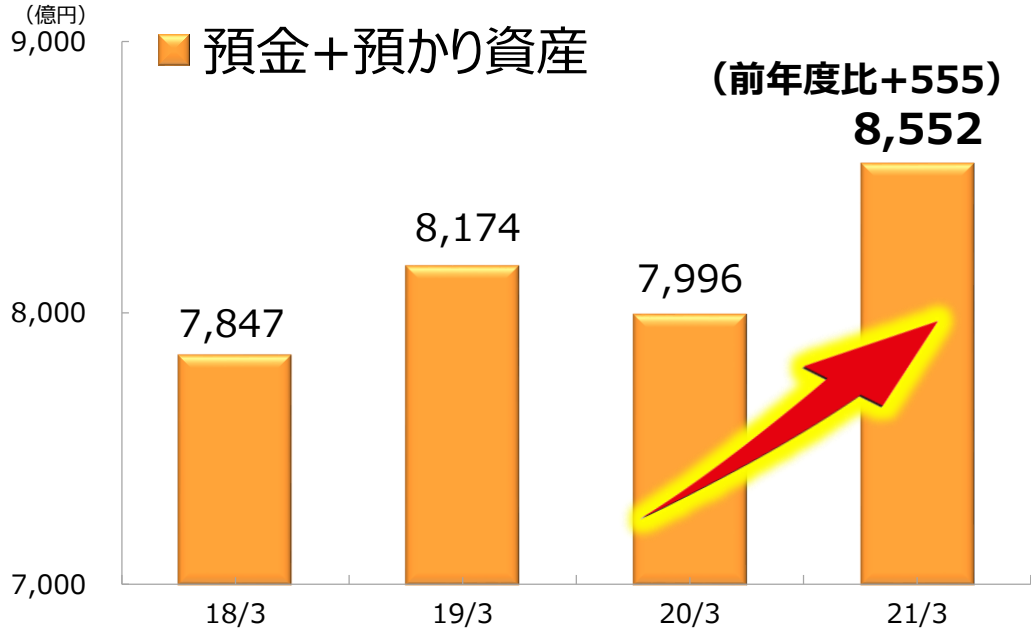
※投資信託(その他)･･･オルタナティブ、出資金等

その他有価証券評価損益の推移



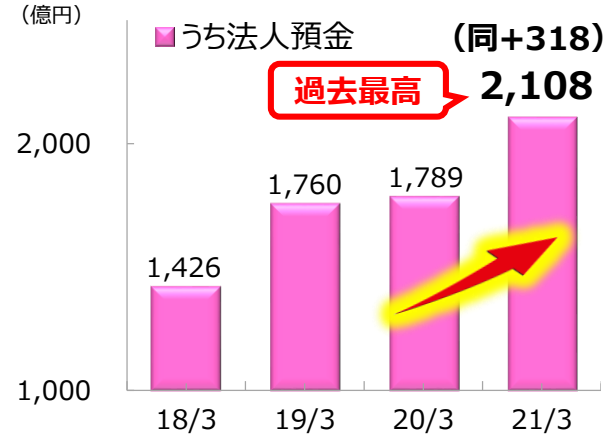
預　金（NCDを含む）・預かり資産

福島銀行

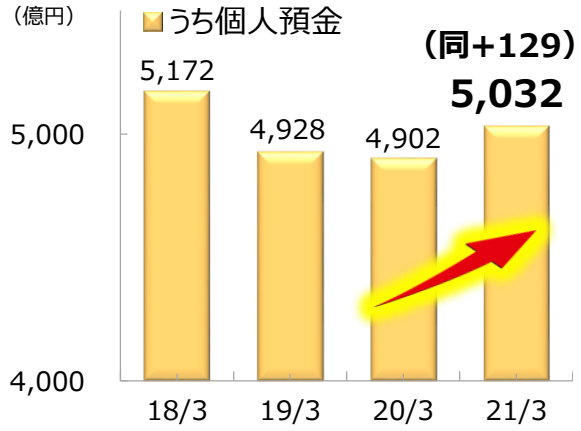


預金＋預かり資産の残高は、8,552億円（前年度比＋555億円）と**法人預金**を中心に増加

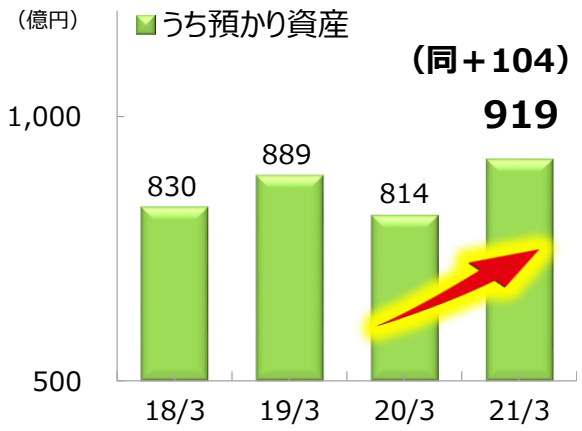
- 法人預金は、同＋318億円増加し、**過去最高を更新**
- 個人預金は、同＋129億円増加
- 預かり資産は、同＋104億円増加



- コロナ禍による先行き不透明感等から手元流動性預金が増加



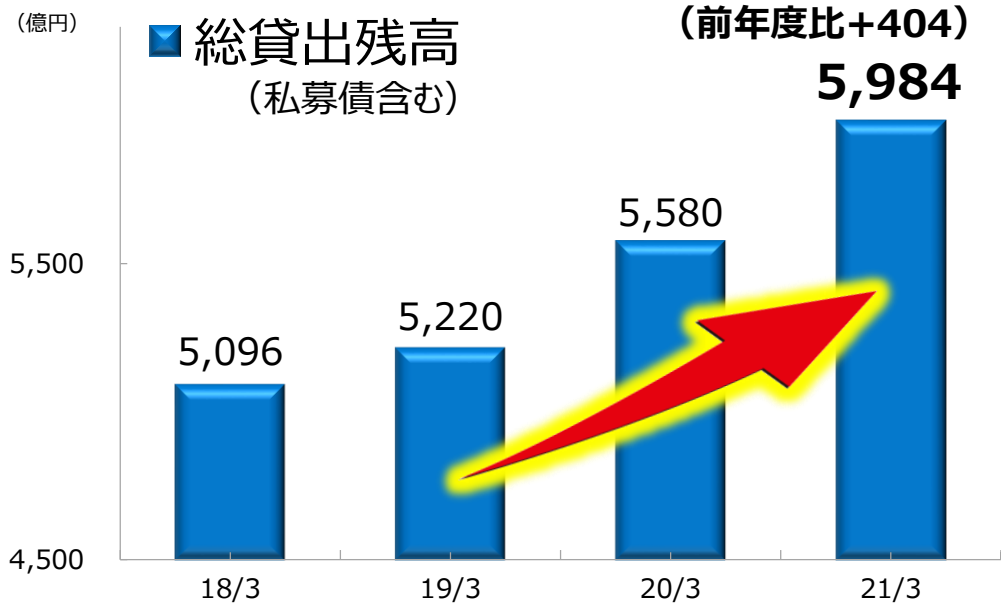
- 個人消費の低迷やコロナ禍による先行き不安感により増加



- 投資信託は、同＋55億円
  保険は、同＋54億円の増加

貸　出（私募債含む）

福島銀行

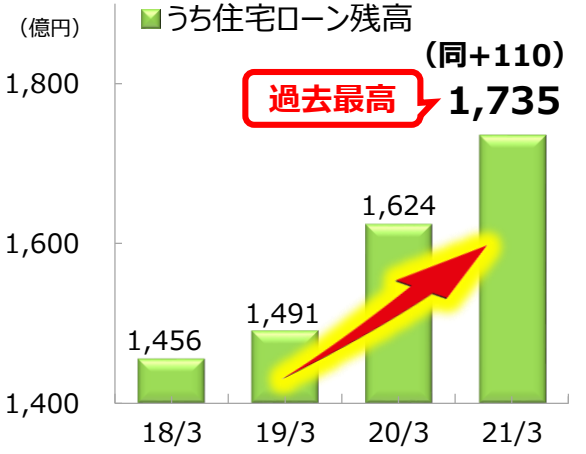


総貸出残高は、5,984億円
（前年度比＋**404億円**）と
事業性貸出を中心に**大幅に増加**

- **営業店事業性貸出残高**は、同＋**393億円**と、コロナ対応融資を中心とした地元中小企業向けの資金繰り支援に積極的に対応し、**過去最高を更新**

- コロナ対応融資を中心に**地元中小企業へ積極的に対応**し同＋393億円増加

- **SDGs危機管理サポート寄付型私募債**など私募債受託が同＋99億円増加



- **ソリューションプラザ、ローンプラザ**を中心に住宅ローンを推進し同＋110億円増加

2. SBIグループとの連携

SBIグループとの主な業務提携一覧

福島銀行

～ 2020年度の手数料収入において1億円超の増加に貢献 ～

個人	資産形成	● **共同店舗「福島銀行SBIマネープラザ郡山」を新設**	ネット証券最大手であるSBI証券の金融商品・サービスを、対面による質の高いアドバイスと共に利用可能
	資産形成	● **SBI証券とのリアルタイム入金サービスの提供**	当行普通預金からSBI証券の証券口座に手数料無料で資金振替でき、スムーズで便利な証券取引が利用可能
	利便性向上	● **バンキングアプリの導入**	アプリでの口座開設（来店不要、印鑑不要、通帳レス）や、家計簿アプリ「一生通帳by Moneytree」を提供
	利便性向上	● **住信SBIネット銀行の『ミスター住宅ローンREAL』および『フラット35』の取扱開始**	当行ホームページから、住信SBIネット銀行の住宅ローンの各種申込手続等がWEB上で利用可能
個人・法人	補償の充実 低コスト	● **SBI損保の「自動車保険」「火災保険」の取扱開始**	WEBで完結する「自動車保険」や、住宅ローンのお客さまが必要な補償を自由に選べる「火災保険」を提供
	補償の充実	● **住宅ローンおよび各種ローンに団体信用生命保険を付保**	住宅ローンのほか、事業者、医療従事者および個人向けの各種ローンに団信を付保し、万が一の時に備えた安心を提供
法人	業務効率化	● **クラウド型ワークフローシステム「承認Time」「経費BankⅡ」の提供**	社内のあらゆる書類の申請、承認、回覧、保管を電子承認フローに載せられるクラウド型ワークフローシステムを提供
	利便性向上	● **SBIレミットの海外送金サービスの提供**	地域企業が抱える外国人労働者のために、簡単で利便性の高い海外送金サービスを提供
	人材支援	● **理系人材の採用支援サービスの提供**	地域企業が必要とする技術職・研究職などを、理系人材マッチングサービスにより採用を支援

～ 法人のお客さまへのサービス ～

企業のDX化をサポートいたします

中小企業向けに、業務効率化・生産性向上のための、低コストかつ短期間で導入できるサービス

- **クラウド型ワークフローシステム「承認Time」「経費BankⅡ」の提供**（2020年1月開始）

  「承認Time」とは、社内のあらゆる書類の申請、承認、回覧、保管を電子承認フローに載せられるクラウド型ワークフローシステム

- **クラウド型勤怠管理システム「勤怠Reco」の提供**（2021年5月開始）

  「勤怠Reco」とは、社員の出退勤・休暇取得の記録、シフト管理などの労務管理をWeb上で完結できるクラウドサービス

～ 主な特徴 ～

- スマホやダブレットで外出先からもアクセス可能。在宅勤務など多様な働き方に対応し、テレワークにも安心
- クラウド型なのでWebで完結、ペーパーレス化を推進。

  意思決定の迅速化、事務作業の削減、労務管理の効率化などが進み、働き方改革を推進し、生産性が向上

福島銀行

～　個人・法人のお客さまへのサービス　～

万が一の時に備えた安心を提供

- SBI生命との「**住宅ローン団信**」および「**各種ローン団信付保商品**」の提供
  （2021年1月開始）

  - 「団体信用生命保険」とは、対象ローンをご利用のお客さまが死亡・高度障害となられた場合、その時点のローン残高を保険金で完済
  - がんを含む8大疾病をはじめとしたすべての病気やケガにより、所定の就業不能状態が継続した場合に保険金（月々のローン返済額、ローン残高相当額）が支払われる
  - 『事業者専用』『医療従事者専用』および『個人専用』団信を各種ローンに付保し、万が一の時に備えた安心を提供

SBI生命

3．2021年3月期決算の概要

2021年3月期の実績

福島銀行

単　体

（単位：億円）

		21/3	20/3	前年度比
1	経常収益（①+⑦）	**111.0**	113.7	▲2.6
2	業務収益①	**107**	109	▲2
3	貸出金利息	**65**	60	4
4	有価証券利息配当金㋐	**13**	13	0
5	(A)投信解約益　※	**7**	3	3
6	受入手数料	**27**	26	1
7	国債等債券売却益②㋑	**－**	8	▲8
8	業務費用③	**111**	101	9
9	一般貸倒引当金繰入④	**4**	▲2	7
10	国債等債券償還損・償却⑤㋒　※	**20**	14	6
11	営業経費	**75**	77	▲2
12	人件費	**35**	36	▲1
13	物件費	**34**	35	▲1
14	業務純益⑥（①-③（金銭の信託見合費用除く））	**▲3.6**	7.9	▲11.6
15	(B)コア業務純益｛⑥-（②-⑤）+④｝	**20.7**	10.8	9.8
16	**本業収益**（投信解約益除くコア業務純益）(B)-(A)	**13.5**	7.2	6.2
17	臨時収益⑦	**3**	3	▲0
18	株式等売却益㋓　※	**0**	0	▲0
19	貸倒引当金戻入益	**－**	0	0
20	臨時費用⑧	**17**	7	9
21	個別引当金繰入額	**6**	3	2
22	株式等売却損・償却㋔　※	**9**	2	6
23	臨時損益⑨（⑦-⑧）	**▲13**	▲3	▲10
24	経常利益（⑥+⑨）	**▲17.5**	4.0	▲21.6
25	特別損益	**0**	▲0	0
26	当期純利益	**▲17.4**	3.5	▲20.9
27	不良債権処理費用	**10.3**	0.7	9.5
28	有価証券関係損益（㋐+㋑-㋒+㋓-㋔）	**▲15.5**	5.7	▲21.3

21年3月期　損益状況

21年3月期は減収減益。本業収益は3期連続増加

- **業務収益は107億円。前年度比▲2億円の減収**
  - 貸出金利息は、コロナ対応融資を主因に貸出金平残の増加により同＋4億円の増加
  - 有価証券利息配当金は、2020年第2四半期に有価証券含み損を一掃。政策投資株式を除き、債券中心の運用に変更
  - 受入手数料は、法人においては私募債発行手数料、個人においては金融商品仲介手数料や保険販売手数料の増加により、同＋1億円の増加と、過去最高を更新

- **業務費用は111億円と、同＋9億円の増加**
  - 一般貸倒引当金繰入は、コロナ関係引当金（3億円）の計上により同＋7億円の増加
  - 国債等債券償還損・償却は、有価証券含み損一掃のため同＋6億円の増加
  - 営業経費は、物件費などの削減から同▲2億円の減少（物件費は5期連続で減少）
- **業務純益は▲3.6億円となるも、コア業務純益は20.7億円、本業収益（投信解約益を除くコア業務純益）は13.5億円（同＋6.2億円増加）と、3期連続で着実に増加**

- **経常利益は▲17.5億円、当期純利益は▲17.4億円と赤字を計上**

- **赤字要因は、コロナ関係引当金を含め将来への備えを万全にするため不良債権処理費用に10億円計上、および有価証券含み損の一掃（株式の減損、ロスカット等）による▲22億円の計上によるもの**（※　(A)-㋒+㋓-㋔）

預　金（NCDを含む）　・預かり資産

福島銀行

- 預金と預かり資産を合わせた残高は、前年度比＋555億円増加し8,552億円
  - うち預金残高は、同＋450億円増加し7,632億円。預かり資産残高は、同+104億円増加し919億円
- 預かり資産の販売額は、保険が同+24億円増加し、投信は同▲25億円の減少
- 預かり資産の販売手数料は、SBIマネープラザ郡山の手数料等の増加により、同+1.4億円増加し11.4億円

預金＋預かり資産の残高推移

（億円）

	18/3	19/3	20/3	**21/3**	前年度比
預　金	7,016	7,285	7,181	**7,632**	450
個　人	5,172	4,928	4,902	**5,032**	129
法　人	1,426	1,760	1,789	**2,108**	318
地公体	382	429	445	**450**	4
預かり資産	830	889	814	**919**	104
投　信	424	416	306	**362**	55
保　険	360	432	475	**530**	54
公共債	45	40	32	**27**	▲5
合　計	7,847	8,174	7,996	**8,552**	555

預かり資産　販売額推移

（億円）

	18/3	19/3	20/3	**21/3**	前年度比
投　信	167	170	196	**171**	▲25
保　険	33	104	87	**111**	24
公共債	7	4	1	**2**	1
合　計	208	279	284	**285**	0

預かり資産　販売手数料推移

（※SBIマネープラザ手数料を含む）

（億円）

	18/3	19/3	20/3	**21/3**	前年度比
合　計	6.8	10.9	10.0	**11.4**	1.4

貸　出（私募債含む）

福島銀行

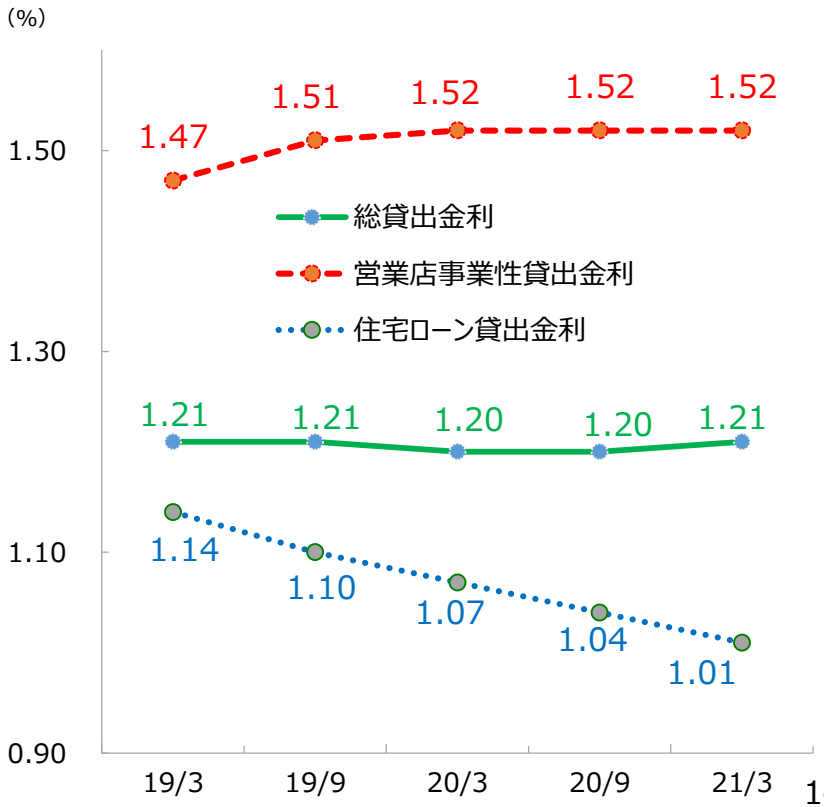
- 貸出残高（私募債含む）は、5,984億円。前年度比＋404億円の増加
  - 事業性貸出（私募債含む）は、新型コロナウイルス対応融資の増加により、同＋467億円の増加
    私募債は、20年度に163件（124億円）受託し、同＋99億円の増加
  - 消費性貸出については、住宅ローン実行の増加により、同＋92億円の増加
  - 中期経営計画の数値目標にある事業性融資先数5,000先は、555先上回り、5,555先を達成
- 貸出平均約定金利は、営業店事業性貸出金利が1.52%を維持し、総貸出金利は1.21%に回復

貸出　残高推移

（億円）

	18/3	19/3	20/3	21/3	前年度比
事業性	2,079	2,219	2,561	**3,028**	467
営業店	1,847	1,770	1,865	**2,258**	393
私募債	45	160	255	**355**	99
本　部	186	287	440	**414**	▲26
消費性	1,766	1,797	1,920	**2,012**	92
住宅ローン	1,456	1,491	1,624	**1,735**	110
消費者ローン	289	286	278	**263**	▲15
総合口座貸越	20	18	17	**14**	▲2
地公体	1,047	1,018	935	**808**	▲127
その他	203	186	163	**135**	▲28
合　計	5,096	5,220	5,580	**5,984**	404
平　残	4,961	5,120	5,255	**5,791**	535
事業性融資先数	4,869	4,880	5,117	**5,555**	438

貸出平均約定金利



有価証券

福島銀行

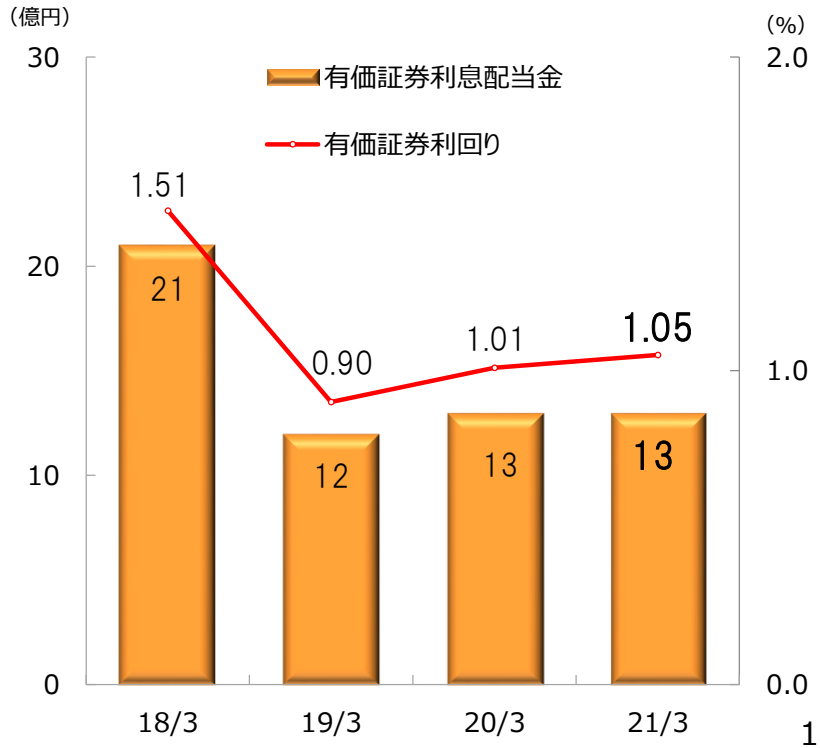
- 有価証券の残高は1,455億円。前年度比＋253億円の増加
  - 評価損を抱えていた投資信託や株式を売却し、SBIグループへの委託に切り替えたことにより、低コストで安定した債券中心の元本毀損リスクの低い運用に変更
- 有価証券の評価損益は＋3億円。同＋43億円の改善。3期ぶりにプラスに転じる
- 債券のデュレーションは9.6年。同＋3.9年の長期化
- 有価証券の運用利回りは1.05%。同＋0.04%の上昇

有価証券　残高推移

（億円）

	18/3	19/3	20/3	21/3	前年度比
債　券	703	689	498	**745**	246
国内債	665	634	461	**709**	247
外国債	37	55	36	**36**	▲0
投資信託	689	589	657	**675**	17
外債型	428	192	439	**675**	235
株式型	141	212	99	**－**	▲99
その他	118	184	118	**－**	▲118
株　式	53	46	33	**21**	▲11
そ の 他	7	47	12	**13**	1
合　計	1,454	1,372	1,201	**1,455**	253
保有有価証券の評価損益	4	▲15	▲40	**3**	43
債券のﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ（年）	7.1	5.3	5.6	**9.6**	3.9

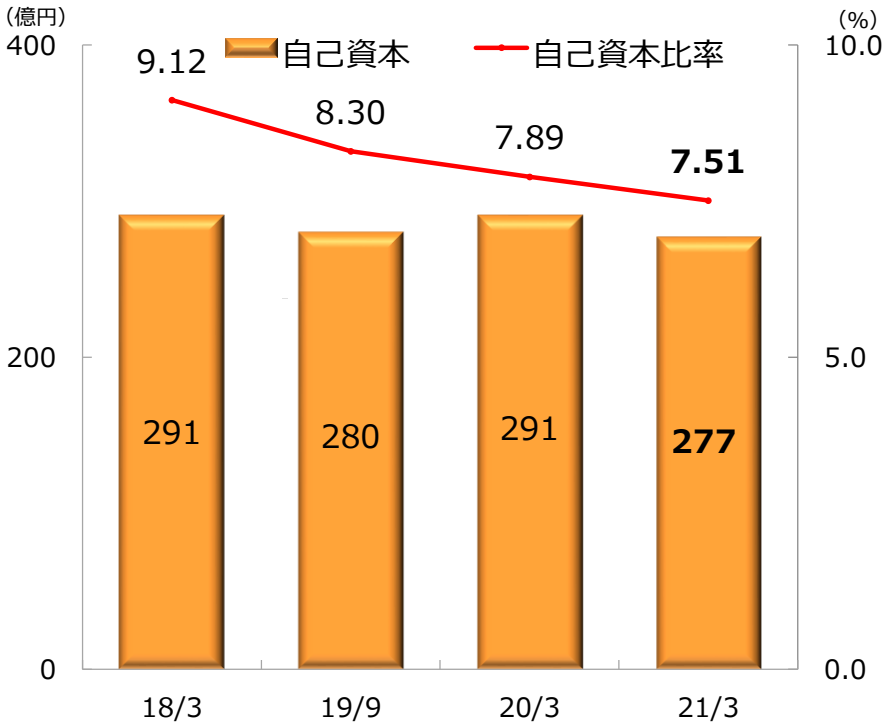
有価証券利息配当金と有価証券利回り



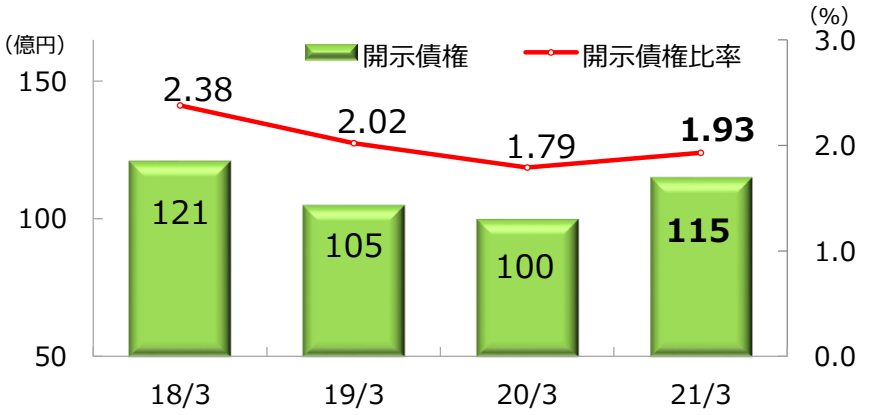
健全性

- 自己資本比率は、貸出資産の増加および当期純利益の赤字により7.51%（前年度比▲0.38%）と低下したものの、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は7.94%
- 金融再生法開示債権は、115億円（同＋15億円増加）
  金融再生法開示債権比率は、1.93%（同＋0.14%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、コロナ禍による予防的引当の実施により、同＋9.5億円増加し10.3億円

自己資本比率



金融再生法開示債権比率



与信関連費用

（※）一般貸倒引当金繰入額＋個別貸倒引当金繰入額
＋貸出金償却等－貸倒引当金戻入額

(億円)

18/3	19/3	20/3	**21/3**	前年度比
12.3	4.7	0.7	**10.3**	9.5

2021年度（2022年3月期）の決算予想

福島銀行

- 2021年度（2022年3月期）は、単体で当期純利益 6億円を見込んでおります。
  ・貸出金利息、受入手数料の増加、および経費の削減により利益を確保いたします。
- 2020年度（2021年3月期）の配当は、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。
  2021年度（2022年3月期）の配当は、1株あたり 2円を予定しています。

2021年度（2022年3月期）決算予想

（億円）

		18/3月期 実績	19/3月期 実績	20/3月期 実績	21/3月期 実績	**22/3月期 予想**
単体	経常収益	117	108	113	111	106
	経常利益	▲16	2	4	▲17	7
	当期純利益	▲33	3	3	▲17	6
連結	経常収益	136	128	134	133	129
	経常利益	▲13	5	4	▲17	7
	親会社株主に帰属する当期純利益	▲31	5	4	▲17	6

４．中期経営計画について

中期経営計画

「ふくぎん 福島創生プロジェクト」

～企業活動(法人)とお客さまの生活(個人)を伴走支援し、地方創生に貢献します～

～私たちが暮らす地域のよりよい環境や暮らしやすい社会づくりに尽力します～

2021年4月1日～2024年3月31日

1 お客さまの本業を徹底的に伴走支援します。

2 お客さまの生活を支援し、最適な資産形成をサポートします。

3 DX化の推進により、お客さまに新たなサービスを提供するとともに、
業務の効率化・高度化、経費の削減を推進します。

4 ESG・SDGsに資する活動を実施し、よりよい環境と暮らしやすい
社会づくりに貢献します。

5 経営基盤(経営資源の配置・人材育成・働きがいのある職場)を
再構築し、収益力の強化を図ります。

1 本業支援　コンサルティング業務

経営改善計画書を共に策定するなど、お客さまの課題解決や本業支援に向け伴走支援し、コンサルティング機能を強化します。

- 営業店と本部が一体となって、事業計画書または経営改善計画書をお客さまと共に策定します。
- SBIなどと連携し、お客さまの課題解決に資する商品・サービスを提供します。

事業承継・M&A	販路拡大 ビジネスマッチング	人材紹介	業務効率化・生産性向上、DX化の推進

2 個人取りまとめ融資

多重債務に苦しむお客さまや廃業を希望されるお客さまとの対話を重ね、債務を取りまとめるなど生活再建を応援します。

- 専担者4名体制で県内4地区に本部担当者を配置します。
- お客さまとの対話を重ね、お客さまが直面している課題に正面から共に向き合い、最適なプランを提案します。
- 後継者不在、コロナ禍などの影響により、ご融資の返済に不安をお持ちのお客さまに寄り添い、伴走支援を行います。

3 DX化の推進

お客さま利便性の向上に資する次期システムの更改、ビッグデータの活用による営業の高度化、PC1人1台化による業務改革・業務効率化、働き方改革のためにDX化を推進します。

- 消費性ローンWeb完結化など、お客さま利便性の向上を図ります。
- DX委員会内に協議内容ごと組織横断的に3グループを設置し、DX化を強力に推進します。

Aグループ	Bグループ	Cグループ
次期システムの更改、サブシステム、API連携などを推進	ビッグデータの活用による営業の高度化やWebを利用した提案営業の強化などを推進	PC1人1台化によるペーパーレス化、テレワークによる働き方改革などを推進

4 人材育成

本業支援に強い社員、事業承継・M&Aなど専門分野の知識を持つ社員の育成を図ります。

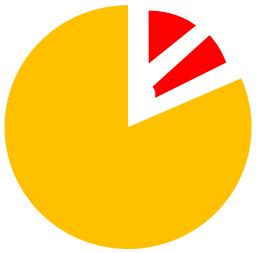
- **事業性融資研修プログラムの実施**
  主に入行5年目までの若手社員を対象とし、事業性評価に基づいたお客さまの課題解決、資金繰り支援、本業収益の改善を伴走支援できる人材の育成を図ります。
- **中堅社員、新任支店長(課長)向け研修の実施**
  中堅社員向け本業支援研修、新任支店長・課長向け店務運営等の研修を強化します。
- **傾聴力と対話力を高める研修を実施**
  お客さまや社員相互のコミュニケーションを豊かにする研修を実施します。
- **専門分野の知識が豊富な社員の育成**
  SBIグループとの連携により、事業承継・M&A部門や有価証券運用部門に若手・中堅社員を派遣し、専門分野の知識が豊富な人材の育成を図ります。

本業収益

10億円

10億円以上の安定した
本業収益を確保する

ＯＨＲ



4%　改善

2020年3月期対比
OHR4%の改善を図る

※ 2020年3月期OHR実績83.91%
※ OHR(経費率)＝営業経費／業務粗利益
（日銀特別当座預金制度に基づくOHR）

事業性融資先

6,000先

うちメイン先1,250先
以上を目指す

※ メイン先：融資シェア1位をメイン先と定義

5. 2020年度の主な取組み

2020年度の主な取組み

福島銀行

事業活動を通じた地域貢献

- **子育て支援 寄付型ローン ～「ふくぎん子ども絆ローン」～**

  SDGsの取組みとして、子育て支援等に寄付する「ふくぎん子ども絆ローン」**Season1**（2018年11月～）を開始（ふくしまこども食堂ネットワークへ総額300万円を寄付）。

  Season2（2019年5月～、子育て支援施設にマスク1万枚を寄付）、さらに**Season3**（2020年1月～）と継続的に取組んでおり、当商品の提供を通して、お客さまと共に社会貢献や地域との共生に努めております。

2020年5月、Season2の100億円到達に伴い
県内の子育て支援施設にマスク1万枚を寄贈

- **各種寄付型私募債の取扱い**

  SDGs危機管理サポート私募債（2020年4月～）

  東日本大震災や令和元年東日本台風被害さらには新型コロナウイルス感染症の拡大等の危機管理にあたり、地域金融機関として、お客さまと共にサポートを図るため、県・市町村等自治体や学校等に、私募債発行手数料の一部を寄付する取組みを行っております。
  （寄付型私募債受託額　累計62件、54億4千万円）

私募債受託に伴う寄贈式
車いすを浪江町に寄贈

2020年度の主な取組み

地域貢献活動の取組み

- **行員ボランティア活動**

  地域社会の一員として、地域イベントのお手伝いや商店街・駅前等の清掃活動、猪苗代湖の水草回収活動、海岸の清掃活動などに幅広く参加し、地域に根差した社会貢献活動を、継続的に行っております。
  （2020年度ボランティア活動実績 のべ1,077人）

- **集団献血**

  集団献血を継続的に実施しており30年以上の活動の協力に対して厚生労働大臣感謝状が授与されました。（2020年度献血実施者68人）

福島銀行

● 第9回 障がい者施設製品大展示即売会

障がいをお持ちの方々の自立をサポートすることを目的に、例年、県内の授産施設約90先が参加・出展され、本店地下大ホールにて大展示即売会を開催してきました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「カタログ販売」（10/8～11/13）で実施し、大変多くのお客さま・お取引先にご購入いただき、総額436万円と過去最高売上額となり、授産施設事業の活動を支援することができました。

6. 当行のプロフィール

福島銀行

【2021年3月末現在】

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	186億円
株主数	13,650名
従業員数	644名（うち正社員491名）
店舗数	57店舗（5出張所、2ｿﾘｭｰｼｮﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾛｰﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾈｯﾄ支店含む）
預金残高	7,632億円
預かり資産	919億円
貸出金残高	5,984億円（私募債含む）
自己資本比率	7.51%（単体）、7.94%（連結）
金融再生法 開示債権比率	1.93%
連結子会社	㈱ふくぎんリース＆クレジット（2021年4月1日合併） ㈱東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 猪股徹也、市川清人 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する補償はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。